

わたしたちのかわちながの暮らし
KAWACHI NAGANO
LIFE STYLE

河内長野市 移住定住相談デスク

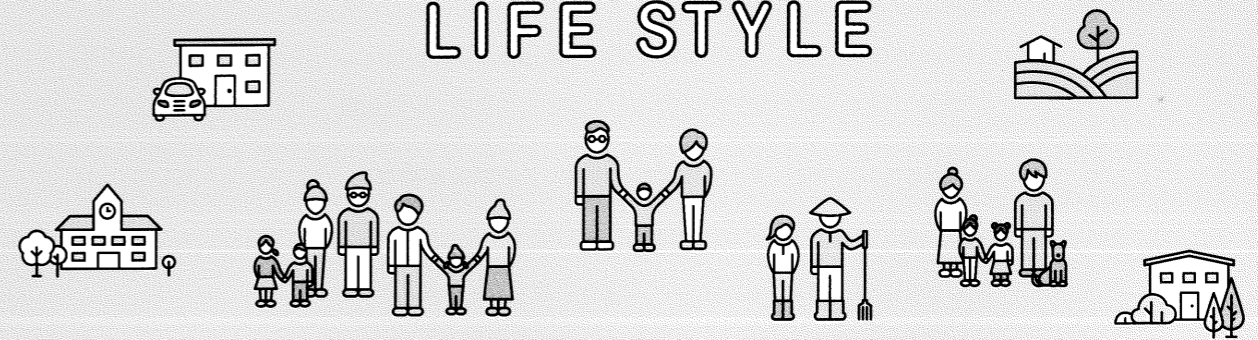
TEL 0721-53-1111



〒586-8501 河内長野市原町1-1-1
河内長野市 総合政策部 広報広聴課内
www.city.kawachinagano.lg.jp



わたしたちのかわちながの暮らし
KAWACHI NAGANO
LIFE STYLE



河内長野で暮らそう

身近な自然

充実の子育て環境

安全・安心

歴史・文化

河内長野は大阪難波まで電車で約30分
 都会の喧騒から少し離れた穏やかなまちで
 暮らしのすぐそばで自然を満喫することができます

子育て支援や親子の遊び場が充実し、小・中学校ではICTや英語教育

図書活動に力をいれるなど、子育て環境が整っています

安全で通勤・通学しやすく、安心して暮らせるまち、河内長野

国宝をはじめたくさんの文化財があり、その数は全国有数

悠久の歴史を体験できる文化のまち

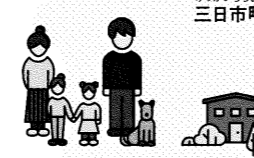
あなたも河内長野で、心満たされる豊かな暮らしを実現しませんか

一足先にこのまちで暮らし始めた人たちの声を集めてみました

あなたもきっと気になる、かわちながの暮らし

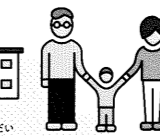
P.8

おおやぶお
 寝屋川市から大矢船へ移住
 マンションではできなかった
 大好きなDIYと戸建て暮らし



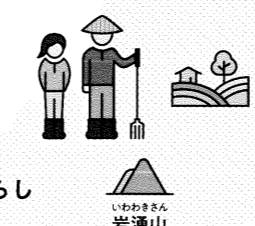
P.3

にっとうちょう
 豊中市から日東町へ移住
 気心の知れた地元へリターン
 補助金制度でプラスαの暮らし



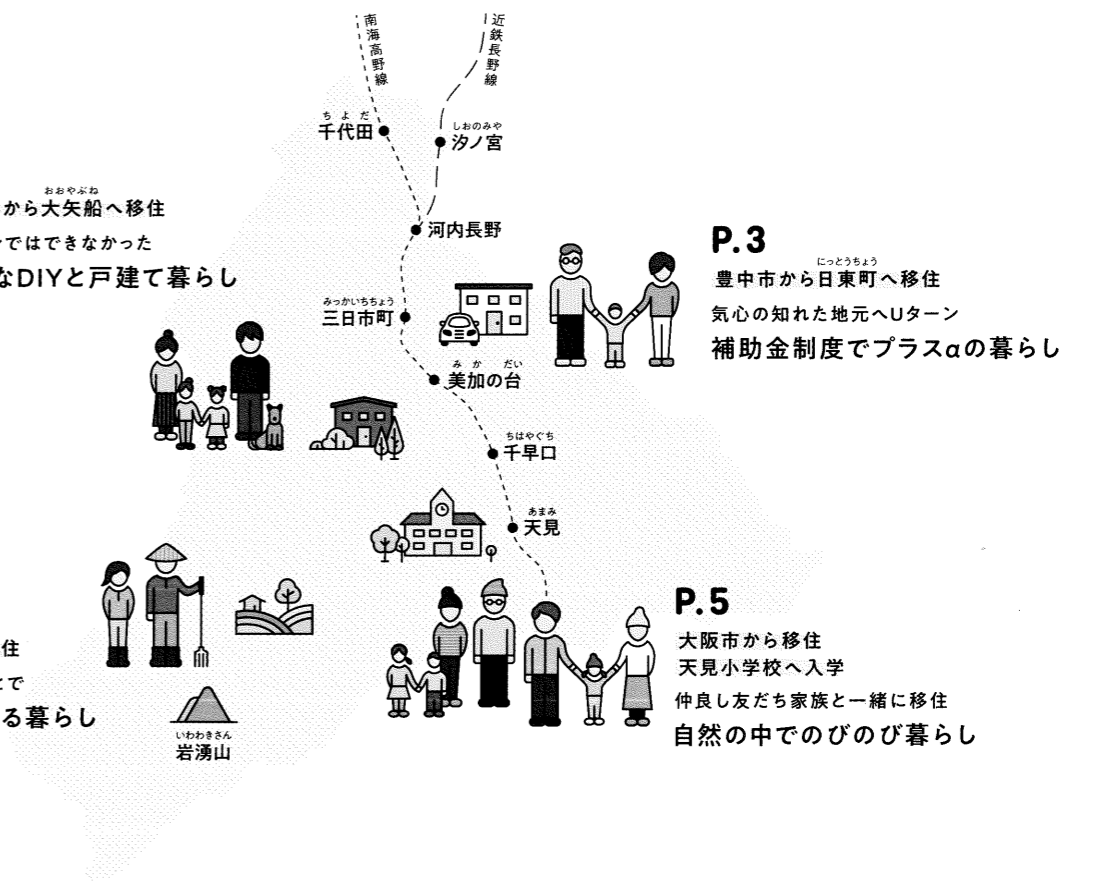
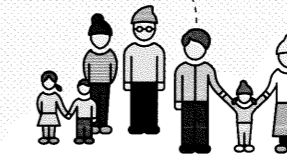
P.7

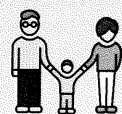
大阪府から南ヶ丘へ移住
 奥河内の岩湧山のふもとで
 無農薬野菜を育てる暮らし



P.5

大阪市から移住
 天見小学校へ入学
 仲良し友だち家族と一緒に移住
 自然の中でのびのび暮らし





気心の知れた地元へUターン

念願の新築一戸建に補助制度をプラス

Kさんファミリーは幼稚園に通う息子さんとの3人家族。2人は大学時代に出会い、就職して結婚。しばらく他市で暮らしたのち、一昨年、河内長野市内で住宅を新築し転入されました。白い壁の素敵な家。庭には家庭菜園も。実際に暮らし始めてみると、とても暮らしやすく満足されている様子。

PROFILE

Y・Kさん
門真市内まで電車で通勤。休日は趣味の少林寺拳法で、近くの道場の副道院長を務めています。

M・Kさん
家庭菜園でいろんな野菜に挑戦中。最近、自宅の近くで働き始めました。

R・Kくん
近くの幼稚園に楽しく通っています。最近、自転車に乗れるようになりました。



実家まで徒歩5分の立地

最寄りが発駅なので座って通勤できるのも魅力

河内長野市の実家を出て、進学、就職して横浜市や豊中市で暮らした後、2年前に戻ってきました。賃貸マンションでは周囲の生活音が気になっていたため、静かで落ち着く念願の新築一戸建てを思い切って購入しました。夫婦で家のことを考え始めてから2年あまり。自分たちの思い描いた家を建てることができました。物件選びでは、どちらかの親に近いところを探しました。北摂と悩んだけれど、同じ価格で断然広い^{（にとうちょう）}ここ東町に決めました。私の実家まで徒歩5分。ほどよい距離で、子育てなどに協力してもらえるので安心です。

私が働く門真市内までは、ドアツードアで1時間30分くらい。始発駅なので座って通勤できるので、あまり苦にはなりません。

便利さより暮らしやすさが大事

夫と違って私は、河内長野市のことをまったく知りませんでした。初めて聞いたときは「どこ？長野県？」という感じ。でも、実際に引っ越してきて、とても生活しやすいことに気付きました。何より、ここは静かで落ち着きます。家も、私の希望どおりの白い壁、暖かい家。緑豊かな環境で、子どもものびのび育てられます。歩いて通えるところにある幼稚園は教育内容に特色があり、遠くから通わせる人がいるほど。また、駅前にある子ども・子育て総合センターあいっくにもよく遊びにいき、ママ友ができました。

PICKUP!

子ども・子育て総合センターあいっく

河内長野駅前があり、就学前の子どもと保護者が利用できます。木のぬくもりを大切にした広場や、気軽に使える一時預かりなどもあり、読み聞かせ、育児講座なども開催。気軽に子育ての相談もでき、ママ友やパパ友もつくりやすいところです。



補助金を上手に活用して自宅を新築

休日は奥河内くろまろの郷でお買い物

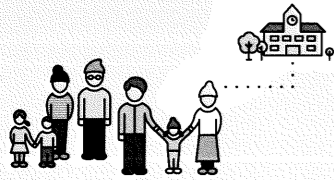
直売所で買う野菜や果物は、どれも味が濃くて新鮮でおいしく、子どもも野菜を喜んで食べてくれます。先日は、すごく大きな白菜を買いました。原木で育てたシイタケが買えるのもうれしいポイント。お料理するのが楽しくなります。家族で食事を楽しむダイニングの大きなテーブルもお気に入り。家を建てるときに、河内長野市のマイホーム取得補助制度*を利用し補助金をもらえたこともあり、思い切ってこのテーブルを購入しました。こういったサポートがあるのは助かりますね。

*補助制度についてはP9をご覧ください。

道の駅「奥河内くろまろの郷」

農産物直売所、地元食材を使ったパンやジュース、特産品を販売するピザセンター、地産地消レストランなどを備えています。近くには花の文化園や、林業総合センター木根館、ふるさと歴史学習館などがあり、1日遊んで学べるスポットです。





仲良し友だち家族と一緒に移住

自然の中での少人数教育が決め手

城森さんと阪口さんのファミリーはお友だち。少人数で学べる環境、自然を活かした体験学習に惹かれて、市立天見小学校への入学を決め、3年前に河内長野市へ転入されました。天見小学校は1年生から6年生までみんな仲良し。のびのびと育っています。



城森さんご家族
大阪市内で家具製造業を営む福介さん、妻のれおらんさん、小学4年生の空羽ちゃん、1年生の劇くんの4人家族。



阪口さんご家族
豊中市内へ通勤する真一さん、妻の貴子さん、小学3年生の香子ちゃんの3人家族。



自然のなかでのびのびと育てほしい(城森さんご家族)

大阪市内で、祖父の代から続く家具製造業を営んでいます。そのため、結婚後は、家具工場の近くで暮らしていました。工業地域なので、外で遊べる場所が少ないこともあり、子どもたちには、のびのびと育てほしいと考え、自然の中で遊びながら学べる幼稚園に通わせていました。その幼稚園での経験もあり、小学校は小規模な学校で落ち着いて学ばせたいと考え、府内の特認校をいくつか見学し、駅から近くて安心して通学できる天見小学校に決めました。特認校の制度では、河内長野市内に住んでいればどこからでも通わせることができるので、できるだけ勤務先へ通勤しやすいようにと、千代田駅付近で家を借りました。

毎日がキャンプのような暮らし(阪口さんご家族)

私たち家族は、以前、大阪市内で暮らしていました。子どもの幼稚園を通じて城森さんと知り合い、情報交換しながら、自然の中で学べる環境に惹かれて、天見小学校に決め、河内長野市へ引っ越しました。豊中市までの通勤は1時間30分かかりますが、自宅の近くに大きな公園もあり、朝にはウグイスの鳴き声が聞こえてきます。ちょっと言い過ぎかもしれませんが、毎日がキャンプのような暮らし。そんな自然に近い暮らしがとても気に入っています。

PICKUP!

自然がいっぱいの市立天見小学校

河内長野市内全域から通学できる小規模特認校。南海高野線の天見駅から徒歩5分。山々に囲まれ敷地内に天見川が流れています。平成29年度は全校児童62名中48名が校区外から通学。入学募集は11~12月、面接は1月。



充実の英語教育と国際交流

河内長野市では、全ての小・中学校に外国人英語指導員(NET)を配置しています。毎年「イングリッシュフェスティバル」を開催するほか、全国でもトップレベルのICT環境を活かし、世界20カ国とテレビ会議で国際交流も行い、グローバルな人材を育成しています。



自然を活かした体験学習、異年齢による縦割り活動
地域ぐるみで子育てをサポート

天見小学校では1年生から6年生までみんな友だち、お互いに得意なこと、苦手なところ、性格も理解しあえる。少人数でのびのびと育つなあと実感しています。自然を活かした体験学習では、学年に応じて、田んぼでどろんこ遊び、田植えや稲刈り、そしてご飯を炊く。川遊びでは、生きもの探し、水質調査、小水力発電といった感じ。

外国人の先生から英語を習うので、家で英語の歌を熱唱したり、英語で挨拶することも。私たちは英語で話しかけられても困るんですが(笑)。保護者も学年を越えて仲良し一体感がありますし、地域の人も温かく支えてくれます。昨日はマラソン大会で、地域の人たちが豚汁をふるまってくれました。一人っ子だと過保護になってしまうところですが、地域の人に育ててもらって視野が広がります。



渡邊大介さん
農業に出会って7年。農業や化学肥料を使わない有機農法を勉強中。



渡邊由紀子さん
のーにん農園の名前の由来は旧姓から。伊賀や船勢での農業体験が人生の転機に。

奥河内の岩湧山のふもとで無農薬野菜を育てる暮らし

渡邊さんご夫婦は6年前に河内長野市に転入。農地を借りて「のーにん農園」を立ち上げ、試行錯誤でいろんな野菜を栽培しながら、今では農業規模を大きく広げておられます。座右の銘は「なんとかなる」。そんな生き方に河内長野市はぴったりでした。



自分たちで改装したくて自宅を購入

当初は賃貸住宅でしたが、自分たちの好きに家を改装したくて、農地の近くの南ヶ丘で今の家を見つけました。自分たちで床を張り、壁を抜くなど改造しています。次は、庭に野菜を保管できる作業場をつくろうと計画しています。今後も、自分たちが楽しみたいこと、今できることを一歩ずつ進めていきたい。将来は、近くの農家さんと、地域の特産品を育てていきたいなんて夢もみえています。

PICKUP!

農業経営を始めるなら

河内長野市では栽培実習などの農業研修を実施しています。また、市の農用地利用集積支援制度を利用すれば、一定の条件で農地を借りることができます。

※援農ボランティア
営農が困難な状況にある農業者を都市住民が支えるボランティア活動。



森 幸一さん
堺市南区まで車で通勤。通勤中に見える山並みの風景がお気に入り。



森 加奈子さん
富田林市まで車で通勤。空気のきれいなところで子育てしたいという希望が実現。



森 幸奈ちゃん、結加ちゃん
加賀田小学校に楽しく通っています。通学で鍛えられて風邪もひかなくなりました。

マンションではできなかった大好きなDIYと戸建て暮らし

おおのぶね
大矢船で中古住宅を購入された森さんご家族。壁紙を自分たちで張り、庭には趣味で珍しい植物などを植えてお庭づくりを楽しんでおられます。本格的なDIYで、ペンキメーカーのDIYコンテストで賞をとったほどの腕前。今もDIYは進化中。

教育環境や治安のランキングを調べて河内長野に移住を決意

夫婦ともに実家がある寝屋川市内の新築マンションで暮らしていたのですが、空気のきれいなところで子育てしたいという希望があり、3年前、夫の堺市への転勤がきっかけとなって、引っ越しを検討しました。小学校の教育環境や統一テストの結果、治安ランキングなどをインターネットで調べる中で、河内長野市にめぐり合いました。知り合いが一人もいなかったのですが、広くて庭もある質のいい住宅を大矢船で見つけることができ、思い切ってマンションを売却して引っ越してきました。おかげで、DIYが自由にできて、柴犬のユッタにも出会えました。

寝屋川市では、コンビニまで徒歩1分でしたが、便利がすべてではありません。確かにここは駅から遠いけど、バス停はすぐ近く。買い物などもすぐに慣れました。



田舎すぎず上質な暮らし。地域のイベントにもよく参加

子どもたちは、加賀田小学校が大好き。言葉きらめき祭では2年連続で入賞しました。夏は、滝畑ダムたきはたのクールスポット、観心寺での写生大会にも参加しました。ラプリーホールらぷりーほーるのミュージカルのスクールでは世界民族音楽祭にも出演しました。ここではご近所さんがとても親切で、挨拶はもちろん、子どもと遊んでくれたり、見守り隊と一緒に通学してくれたり、本当にありがたく感じています。

PICKUP!

地域の目が犯罪を抑止

犯罪発生率(刑法犯認知件数)が低く、大阪府内でトップクラス。地域住民による見守り隊や防犯声かけ運動、一戸一灯運動、防犯カメラの設置、青色パトロール、警察署との連携など、様々な取り組みが暮らしの安全を支えています。



かわちながの暮らしをサポートする制度・情報

住まいの支援

マイホーム借上げ制度

河内長野市では、一般社団法人移住・住みかえ支援機構(JTI)と連携し、マイホーム借上げ制度の普及に取り組んでいます。この制度は、50歳以上の方がお持ちの住宅を売却することなくJTIが借り上げ、賃貸住宅として子育て世帯などに転貸するものです。この制度を活用すれば、若い世代が相場より安い家賃で住宅を借りることができます。また、敷金や礼金の負担もありません。

親子近居同居促進マイホーム取得補助制度

平成32年3月末まで、1年以上市内に居住している親がいる子世帯のマイホーム購入資金(住宅ローン500万円以上)に、最大30万円を補助しています。

- 問い合わせ先: 都市創生課 TEL 0721-53-1111
- 各制度の詳細は河内長野市のホームページでご確認ください。



暮らしに役立つ情報

南河内最大級。蔵書数40万冊の図書館

図書館は朝9時30分から夜8時まで開館。自宅からもインターネットで圖書の検索や予約が可能です。また、市内全学校に司書を配置し、児童生徒に読書ノート配布。夏休みの学校図書館開放や言葉きらめき祭の開催など、子どもたちの読書をサポートしています。



子どもから大人まで憧れの人工芝球技場

平成28年、下里運動公園に人工芝球技場がオープン。夜間照明も備え、サッカー、ラグビーなどに使用できます。



府内トップレベルの公園面積

市内の都市公園(緑地を含む)は、261カ所(約200ヘクタール)あり、市民一人あたりの都市公園面積では府内トップレベルです。



子育て支援

キラキラねっと〜子育てでコンシェルジュ〜

河内長野市が運営する子育て情報サイト「キラキラねっと」は、育児情報やお出かけ情報が満載! 子育て情報のメール配信、おでかけカレンダー、育児講座やイベントへの応募、誕生日のお祝いメールなど、スマートフォンから気軽にチェックできます。



- 問い合わせ先: 子ども・子育て総合センターあいく TEL 0721-50-4664

本に親しむ出会いづくり

「読書のまち」河内長野では、子どもたちに読書の楽しさを届けようと、読み聞かせ、わらべうた、手遊び、おはなし会、夏休み子ども科学教室、図書リサイクルフェアなど様々な事業に取り組んでいます。

- 問い合わせ先: 河内長野市立図書館 TEL 0721-52-6933

子ども医療費助成制度

日常の通院から万が一の入院まで、子育てを安心サポート! 通院・入院医療費を中学3年生まで助成しています。自己負担は1日500円まで。(医療機関ごとに月2日目まで・調剤薬局は自己負担なし)

- 問い合わせ先: 保険年金課 TEL 0721-53-1111

放課後児童会

小学校の放課後も安心して子どもを預けられる放課後児童会事業を市内12カ所で実施しています。(平日は放課後〜午後7時まで/土曜日は午前8時〜午後6時まで/長期休業日は午前8時〜午後7時まで)

- 問い合わせ先: 地域教育推進課 TEL 0721-54-0005

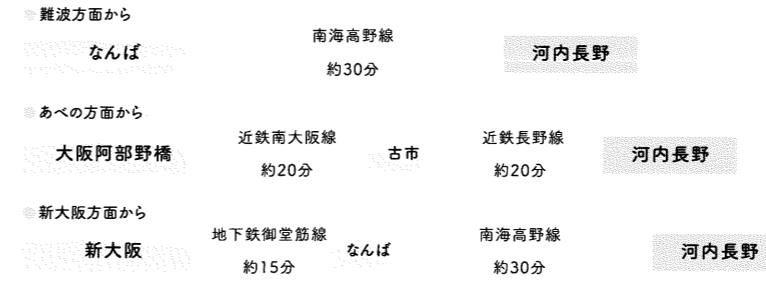
中学校での希望選択給食(弁当箱方式)

旬の野菜や果物、地場産物を取り入れ、文部科学省の栄養摂取量に従った、栄養バランスの取れた給食を選択できます。市の学校給食センターで調理し、安全の確保に努めています。しかも、牛乳、主食、副食セットで320円とリーズナブル。

河内長野市へのアクセス

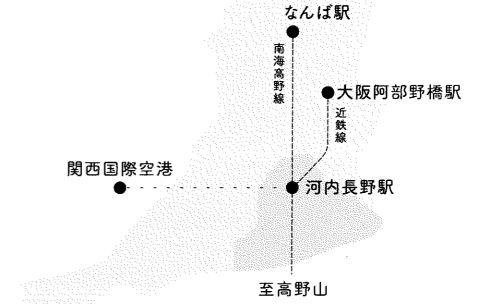
河内長野市は、大阪府南東部に位置する緑あふれる街です。

都心まで約30分という、毎日の通勤や通学にも便利な環境でありながら、市を囲む山並みは壮観で、市内にいながらにして大自然を満喫できる場所です。



【お車の場合】

- 近畿自動車道「美原北IC」から約20分。
- 阪和自動車道「岸和田和泉IC」から約30分。
- 南阪奈道路「羽曳野IC」から約15分。
- 阪神高速14号松原線「三宅IC」から約30分。
- 西名阪自動車道「藤井寺IC」から約25分。
- 関西国際空港からリムジンバスで約65分。



移住定住に関するご相談・お問合せ

市役所では、河内長野で暮らしたい人のための相談デスクをご用意しています。

お仕事のこと、住まい、子育て、地域のことなど、あらゆるご相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。

河内長野市 移住定住相談デスク

TEL 0721-53-1111

〒586-8501 河内長野市原町1-1-1 河内長野市 総合政策部 広報広聴課内

